

株式会社 松屋 10月売上速報

※数値は速報値ですので、毎月中旬に発表する確定値と誤差が生じることがあります。

店名	売上高 対前年 増減率(%)	概況
銀座本店	-12.6	<p>10月の銀座店は、昨年の「消費税率引上げ後の落ち込み」、「台風19号に伴う臨時休業」、一方では、「国慶節を皮切りに、活況を呈していたインバウンド売上」等の諸条件が対比となり、売上高は前年に対して約13%減で推移いたしました。全体としては、Go Toトラベル等の各種施策で銀座へ来街されるお客様が月初めから増加し、当社の強みとなる海外ラグジュアリーブランドへのニーズの高さ(免税売上高を除く売上高前年比+85%)や、クリスマス限定商品の展開が好調な化粧品(同+5%)等が牽引し、免税売上高を除く売上高は前年に対して二桁増となる等、多くのカテゴリーにおいて国内のお客様の回復が見られました。また、外商においても、テレビ通販や特注等の新規開拓の物件が寄与し、法人営業部では前年に対し売上高が4倍の伸びを示す等、館全体を牽引しました。一方で、婦人・紳士ともに衣料品の動きは弱く、インバウンドの動向がしばらく見通せない状況が続く中、今後も、国内のお客様の需要を見据えた商品提案と各種来店促進策が重要になると考えられます。</p> <p>10月の浅草店は、主力となる食品部門がやや苦戦する中、化粧品の特注等が大きく寄与したことで、売上高は前年に迫る勢いで推移いたしました。</p>

※ 上記「銀座本店」の数値は、「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。

※ 「2020年10月売上報告」は、11/13(金)15時の開示を予定しています。

(ご参考)

銀座店	-13.2	「銀座店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。
浅草店	-3.7	「浅草店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。